

ボール名

Hack Infect Green

センター名

南橋本ボウル

投球者

笠原 正光プロ

日付

2010/3/20

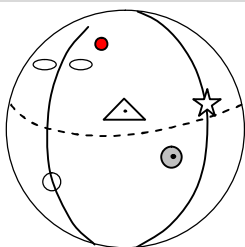
レイアウト

テストボール

ボール名: ハックインフェクト

PAP⇒ピン: 4 1/2 インチ

表面加工: ポリッシュ

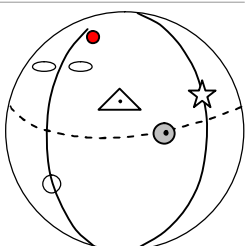


比較対象ボール

ボール名: ザ・ハック

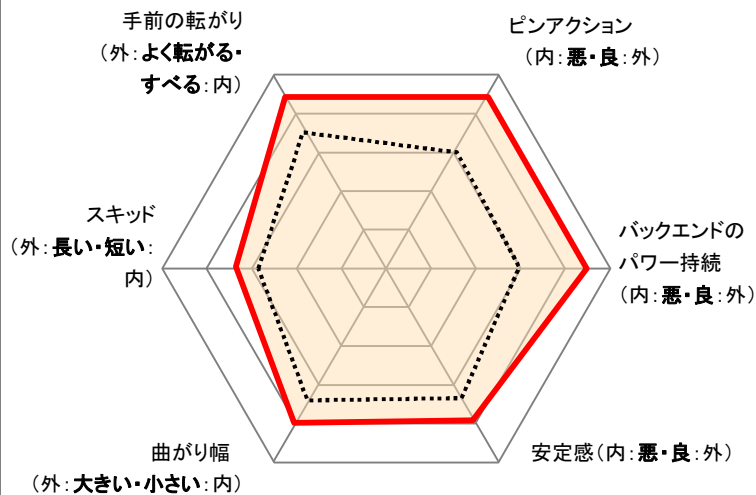
PAP⇒ピン: 4 7/8 インチ

表面加工: ポリッシュ

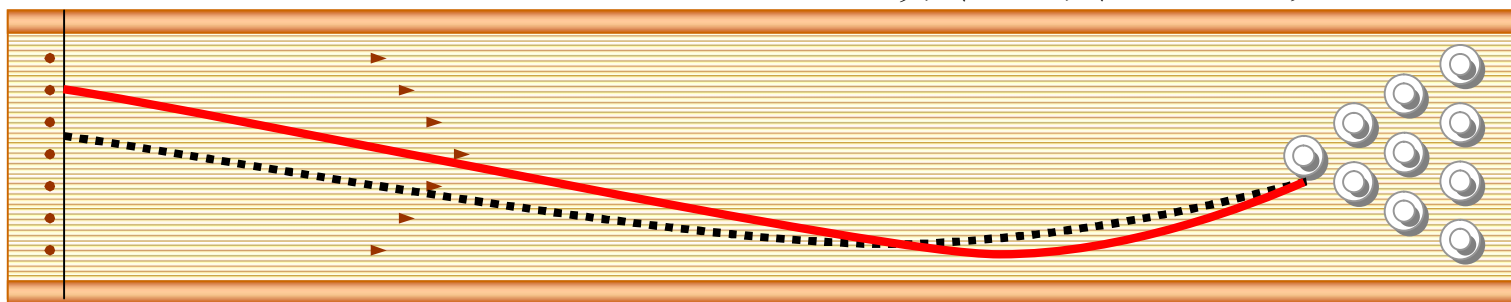


● ピン ☆ PAP ▲ CG ● バランスホール ▲ マスバイアス

特性チャート



— Hackインフェクト Hack



0ft.

15ft.

30ft.

45ft.

60ft.

総合評価

ハックインフェクトとハックを比較してレポートします。

パールが配合され、より強く設定されたカバーストックと、ハックより低く設定されたRGのおかげで、安定感が増した気がします。前作は、箱出し(4000 アブラロン)だったので手前からキャッチし、ややぼやけた様なリアクションだったので、今回はポリッシュ液でポリッシュしてみました。それにより、手前から気持ちよく転がり、クリーンに走ってくれるようになったので、リリースの強さやスピード調整で、思い通りのリアクションを出すことが出来るようになりました。

ハックの方は緩やかなアーク状の軌道を描きますが、ハックインフェクトはシャープな印象を受けました。板目を多く使っても、ピンアクションは力強く、ポリッシュすれば手前が枯れてきたコンディションでも有効だと思います。今までの 900 グローバルには無かったグリーン×ブラックパールのカラーと、低慣性になったコアのおかげで転がり感が数値以上に増した気がします。使用するコンディションは、ミディアム～ミディアムヘビーくらいだと思います。ポリッシュすれば、幅広いコンディションで使用できるオールマイティーなボールだと思います。やや曇らせたハックと組み合わせると、良いでしょう。

ダイクキュービカエーエムエフカンパニー

東京都港区芝2-14-5 芝千歳ビル4階

TEL.03-3456-2253 FAX.03-3456-2313



当社の製品情報はホームページからご覧いただけます。

<http://www.dqa.co.jp/>